



梅花女子大学・梅花短期大学 図書館

Baika Library Times

『ロード・オブ・ザ・リング』から『指輪物語』へ

日本文学科教授 中川正美

三月五日、『ロード・オブ・ザ・リング』が公開されて初めてのレディースデーは人、人、人であった。席につくと両隣はお嬢さんたちで、右からは「これ、感動ものなん、戦争ものなん」、左からは「私、レゴラスが好きで、中学の時、レゴラスの絵、描いててんで」との声。帰りのエレベーターではご婦人たちが「わたしの『指輪物語』をどうしてくれるの」「ほんとにねえ」。見回してみれば、若い人たちに交じって私の年ごろの人もけっこう多い。大学生がマンガを読むなんて、と眉をひそめられた世代は、SFやファンタジーにも熱中した世代であった。

それにしても、原作（翻訳だけど）を読んだ人たちは、なぜ、こうした反応をするのだろうか。それは映画化が文学の二次生産だからである。

読書の楽しみは、通覧した後で、あちらに戻り、こちらを確かめ、もう一度最初から、今度は終わりからと、何度も繰り返し読んで、自身の読みを確立するところにある。読者による文学の再生産である。映画化された作品でもそれは同じである。堪能した作品の映画を観るということは、お気に入りの作品を映像として楽しむと同時に、構成は、主題は、人物はと、自分の読みと監督の読みを比べ、相手の料理のしかたを見抜こうとすることで、そこに鑑賞の醍醐味がある。

J・R・R・トールキンの『The Lord of the Rings』は、瀬田貞二の名訳で『指輪物語』と題して、評論社から「旅の仲間」「二つの塔」「王の帰還」各上下巻が一九七二年から刊行された。それから十年ほどして「旅の仲間」の前半がアニメ化されたが、今回は「旅の仲間」全編の映画化であるから期待も大きかった。

しかしながら、アメリカ映画は『指輪物語』を『スター・ウォーズ』にしてしまっていた。

一つの指輪は、すべてを統べ、
一つの指輪は、すべてを見つけ、
一つの指輪は、すべてを捕らえて、
くらやみのなかにつなぎとめる。

一つの指輪とは、冥王サウロンによって造られた、他の力の指輪を支配する指輪（現代風に言えば他の指輪をネットワークにつなぎ奴隷化する指輪）のことである。一度は失われたと思われたその指輪が主の許に戻ろうとして見出されたとき、人々はその指輪を所有して力を奮うのではなく、敵地の火の山に投じて消滅させることを選択し、その任をホビットのフロドが担っていく。ところが、映画ではこのフロドを分別盛りの五〇歳ではなく、少年に設定してしまった。少年の成長物語にするつもりなのであろう。しかし、それではフロドを始めとする幾多の人が指輪の誘惑に抗する意味が無くなってしまふ。そのためか、ガンダルフやサルーマンは矮小化し、ガラドリエルは少女化し、指輪の処置を決定する会議は混乱を極める。この物語を老人力と評した人もいるが、人間の肉奥に測鉛を下ろす深みもない。あるのはスペクタクルのおもしろさである。

こうしたわたしの鑑賞に、そんなことはないかと反発する人、疑問に思う人、邦訳を読んで批判してください。読書の秋です。もう一つの読みを求めて、さあ、街を離れ、書に戻りましょう。

目次:

『ロード・オブ・ザ・リング』から『指輪物語』へ	1
国立国会図書館・関西館、国際子ども図書館	2
図書館の使い方 -視聴覚資料編-	3
NACSIS-IRと NACSIS-E LS	4
電子ジャーナル	5
2002年度後期図書館展示 と講演会のお知らせ	6
学園資料室展示	6
図書館雑感	7
新収資料から	7

国立国会図書館・関西館、国際子ども図書館

今年の5月5日に全面開館した国際子ども図書館について、10月7日に国立国会図書館・関西館が開館します。ここでは、新しい二つの図書館を簡単に紹介します。

国立国会図書館・関西館

関西館は、関西文化学術研究都市の中心地、京都府の精華・西木津地区に建設されました。建設の目的は、1.図書館資料の増加に対応した収蔵書庫の確保、2.高度情報化社会に対応した図書館サービスの提供とされています。東京本館と離れているので、大規模災害時に備えた資料の分散保存の意味もあります。

今年6月29日に国立国会図書館への文献複写申込の窓口が開館に先立ち東京本館から関西館へ移行しています。遠隔地へのサービスは、関西館の主要な役割のひとつで、インターネット技術を活かした電子図書館サービスと切り離せない関係にあります。10月には「国立国会図書館蔵書検索・申込システム(略称NDL-OPAC)」というインターネットで検索結果から直接複写申込みまで行える新しいOPACが開館されます。検索できる資料の範囲も9月までの「書誌情報(Web-OPAC)」より拡大されます(複写申込みは事前登録が必要。個人申込受付は来年1月から)。また、「雑誌記事索引」データベースを10月・11月にかけて、「明治期刊行図書」3万冊の本文を10月からそれぞれ電子図書館コンテンツとして公開予定。さら

に既存のウェブページに隠れているデータベースをリンクし書誌情報を付すことで検索しやすくする、データベース・ナビゲーション・サービスも10月からはじまります。レファレンスサービスにも事前に主題別の情報蓄積を行いインターネット上で共同利用できるようにするなどの形で、電子図書館としての機能が取り入れられます。すでに公開されている「日本科学技術関係逐次刊行物総覧データベース」、「図書館情報学関係雑誌記事情報」、「雑誌記事索引採録誌一覧」、「全国の点字図書・録音図書作成速報」、「国会会議録」、「貴重書画像データベース」などのコンテンツも含め地理的、時間的制約のないこれら、電子図書館の機能は関西館のサービスの柱となります。今後の様々な新サービスに注目です。

電子図書館の機能以外にも、関西館には、アジア諸言語の雑誌・新聞、関係資料を収集する、アジア関係の専門情報サービスセンターとしての機能があります。9月現在でアジア諸言語の雑誌・新聞7000タイトルが収集されています。また、18歳以上なら来館利用できます。

(*本文中の赤字は一次情報、青色は二次情報を示しています。)



国立国会図書館国際子ども図書館

国立国会図書館国際子ども図書館は、東京の上野公園にあった20世紀初頭に帝国図書館として創建された建物を往時の風情を保存しつつ改修工事を行い、そこに開館しました。利用者は子どもだけでなく、児童文学研究者、学校図書館、公共図書館なども対象になります。国内初の児童書の情報発信基地として、「資料情報センター機能」、「国内外の関連機関との連携・協力」、「来館した子どもたちへのサービス」を目的としています。

ところで、ここでも電子図書館はキーワードのひとつです。こちらでは、『散逸しがちな希少な児童書の所在情報の共有化』を目的として「児童書総合目録」という国内の主要類縁機関の所蔵情報を一元的に検索できる目録を提供しています。参加機関は、大阪国際児童文学館、神奈川県立神奈川近代文学館、三康文化研究所附属三康図書館、東京都立多摩川図書館、日本近代文学館の5つです。それに国際子ども図書館、国立国会図書館を加え、それぞれの目録を一度に検索できるようになっています。また、当該の資料が、何かの受賞作であった場合はそうした情報もあり、書評の付されているものもあります。

他に「海外で翻訳刊行された日本の児童書情報」では、現在

「ぐりとぐら」、「ひろしまのピカ」の海外での翻訳状況が表で掲載されていました。この翻訳刊行の情報は、利用者からの質問が多く寄せられることから、掲載されることになったということです。

また、「絵本ギャラリー」では、“デジタル画像による仮想展示会”の名前のとおり美しい画像と、童謡なら歌声でも絵本を楽しむことができ、作家や作品についての解説も充実しています。9月1日現在、1922年創刊の絵雑誌「コドモノクニ」と、19世紀英国の作家3人の作品を特集した「絵本は舞台」が“展示”されていました。さらに「世界の子どもの世界のことば」では同じ絵本を各国語の音声と字幕で見聞きできます。電子図書館ならではの、研究者以外の方にもおすすめです。

国立国会図書館

関西館ホームページ <http://www.ndl.go.jp/about/index.html>

国際子ども図書館ホームページ <http://www.kodomo.go.jp>

本学図書館のホームページ <http://www.baika.ac.jp/lib/> から「他館の蔵書を調べる」「国内の図書館」からもアクセスできます。ただし関西館は、「国立国会図書館」全体のホームページからのアクセスになります。

図書館の使い方 - 視聴覚資料編 -



図書館ではCDやカセットテープ、VIDEO、LD、DVDなどのさまざまな視聴覚資料を所蔵しています。今回は、それら視聴覚資料の館内での利用の仕方、貸出について紹介しましょう。

館内で視聴する【申し込みは3Fマルチメディア受付カウンターへ】

視聴したい資料を特定し、請求記号をメモします。

具体的に見たい資料が決まっている場合 OPACで検索できます。

決まっていない場合 リストまたは展示しているケースから探します。

リストは各視聴覚資料の種別ごとに3Fに置いています。

CD、VIDEO（ただし貸出可能なものの一部）、LD、DVDは3Fにケースを展示しています。ケースをカウンターまでお持ちください。CD、VIDEO、DVDは5F水嶋純子文庫にもあります。

カセットテープおよび他のVIDEOは、5Fカセットテープ保管室またはAV資料室に保管しています。館員が取り出しをいたします。



3Fマルチメディア受付カウンターで利用者証を提示して、利用手続きをする。

利用者証は視聴される方全員分必要です。利用者証がないと視聴できません。

3Fカウンター上に、「本日のVIDEO・LD利用・予約状況」「本日のDVD利用・予約状況」の表があります。VIDEO・LD・DVDを視聴される方は空き状況を確認してお申し込みください。

予約もできます。（二週間先まで受け付けます。）

視聴覚資料 利用あない

		5F南側視聴覚フロア					3Fフロア					
利用時間		9:00~16:00										
							平日 9:00~17:30 土曜 9:00~15:50					
部屋タイプ		個室					AV視聴室					
部屋番号							CDデッキ	レコード	PCNo.7	PCNo.8		
視聴可能 メディア	ビデオ											
	LD											
	DVD											
	テープ CD											
	レコード											
座席数		6	6	6	5	1	1	1	3	1	1	1

DVDビデオ視聴ランキング ベスト5

(2002年4月1日~8月3日まで)

	タイトル	請求記号
1位	バトル・ロワイアル	DVDビデオ#J63
2位	サトラレ	DVDビデオ#J62
3位	ダンサー・イン・ザ・ダーク	DVDビデオ#J68-J69
4位	パール・ハーバー	DVDビデオ#J60-J61
5位	Love letter	DVDビデオ#J55

DVDビデオ視聴ランキング

1位 バトル・ロワイアル



借りる【手続きは3Fマルチメディア受付カウンターへ】

貸出期間・点数：2泊3日貸し、1人3点まで。

貸出可能資料：CD、カセットテープ、VIDEO（著作権上貸出可能なものに限りま。）

借りたい資料を特定し、請求記号をメモします。

具体的に借りたい資料が決まっている場合 OPACで検索できます。

決まっていない場合 リストまたは展示しているケースから探します。



3Fカウンターで利用者証を提示して、カウンターで貸出手続きをする。

貸出可能VIDEOの紹介

VIDEOは、貸出可能なものとそうでないものがあります。貸出可能なVIDEOの一部は3階ビデオ架に配架しています。ここに配架している以外のビデオで貸出可能なものがあります。詳しくはカウンターにお問い合わせください。



(岩 直子)

NACISIS - IR (ナクシス-アイール) とNACISIS - ELS (ナクシス-イーエルエス) について

いずれも国立情報学研究所がインターネットを介して提供しているサービスです。2002年4月より「機関別定額制」により、利用者の皆さんは利用料金を気にすることなく、これらのサービスを大学内から自由に利用できるようになりました（一部対象とならないものがあります）。

NACISIS - IR (情報検索システム)とは、国立情報学研究所の提供している文献・学術情報オンラインデータベースです。例えば、自分の論文・レポートの参考になる文献をなるべく早く入手したい、同じテーマで研究している研究者は？、最新の研究動向は？ などの必要な情報をさまざまなデータベースから探し出すことができます。

日本の各種文献データベース（科研費・学位論文・雑誌記事・目録情報など）があり、広範囲の分野の学術資料が検索できます。データベースは単独で検索したり、横断検索を行うこともできます。

次に、サービスされているデータベースの中から主なものを挙げます。これら以外にも多種多様なデータベースが提供されています。利用可能な全てのデータベースの一覧は、<http://www.nii.ac.jp/ir/dblist-j.html> をご覧ください。

データベース名	収録期間	概要
科学研究費補助金研究成果概要データベース	1985～	文部科学省の科学研究費補助金により行われた研究の報告書の概要情報
学位論文索引データベース	1953～	我が国の国公立大学等で博士号が授与された学位論文の索引情報
学会発表データベース	1987～	我が国の学協会が主催する会議（大会・研究会等）における研究発表の概要情報
雑誌記事索引データベース	1975～	我が国の主要な学術雑誌に掲載された学術文献の索引情報
学術雑誌目次速報データベース	最新版	我が国の大学紀要類、学協会誌、商業雑誌等の学術雑誌に掲載される記事の索引情報
国会図書館洋図書目録データベース	1986～	国立国会図書館が所蔵する洋図書の目録情報
研究者ディレクトリ	1999年 5月現在	日本国内の大学等に所属する研究者のプロフィール・研究課題・発表論文等の情報
日本建築学会文献索引データベース	1976～ 1990	日本建築学会が発行する建築雑誌、論文報告集、学術講演梗概集、研究報告集などに掲載された論文の索引情報。1991年以降は学会発表データベースに収録。
家政学文献索引データベース	1945～	我が国の家政学関係の雑誌に掲載された論文等の索引情報
大型コレクションディレクトリ	1978～	我が国の国立大学が収集している人文・社会科学系の特別資料の目録・所在情報
日本アメリカ研究文献情報データベース	～1997	日本国内で刊行された、アメリカ合衆国とカナダに関する研究文献情報

NACISIS - ELS (電子図書館サービス)とは、国立情報学研究所が日本国内の学協会が発行する学術雑誌をインターネットを介して、提供している電子図書館サービスです。（本学では、著作権使用料が無料の論文誌等のみ論文フルテキストの利用が可能です）学協会が発行する学術雑誌のページをそのまま画像データとして蓄積し、書誌情報とともに検索できるようにしたものです。検索方法には、論文名・著者名などの検索語を指定して目的の論文を直接検索する方法と学会名・雑誌名・目次から辿って検索する方法があります。

論文・雑誌のリストの検索は無料で学外からでも自由にできます。論文のページの表示や印刷をするには学内の端末でのみ可能です。（一部利用できない雑誌（著作権等が有料のもの）があります。）また、専用のプラグインソフトウェアをダウンロードする必要があります。

「英米文化学会」「国語学会」「史学会」「心理科学研究会」「日本図書館情報学会」などの多数の学会が参加しています。収録雑誌一覧及び著作権使用料の設定状況は、<http://www.nii.ac.jp/els/contents-j.html> をご覧ください。

接続方法について

接続方法は、図書館ホームページのトップから「NACISIS-IR」をクリックし、「利用は、こちらから」の「こちら」をクリックすると、別ウィンドウで「NACISIS-IR 機関別定額制」が開きます。IRであれば、その中の「WebFront（日本語または英語）」ボタンをクリック、ELSであれば、「NACISIS-ELS（日本語または英語）」ボタンをクリックして下さい。

IR、ELSそれぞれのページに検索ガイドや利用のヒントがありますので参照してください。（安威 和世）

第5号

電子ジャーナル

図書館のホームページから電子ジャーナル(学術系雑誌のオンライン版)を利用することができます。現在、前述のNACSIS-ELSの他、Oxford University Press 提供のサービス、紀伊国屋書店 K-Port の Online Journal Web 個別版にリンクしています。いずれも無料で利用できますが、利用は学内からのみに限られています。また、本文を PDF で閲覧する場合は Acrobat Reader などのプラグインソフトが必要です。

OU P

Oxford University Press と国立情報学研究所の共同事業として運用されている電子ジャーナルサービスです。本学図書館で購入していないタイトルでも、学内からであれば一部タイトルを除いて全文も閲覧できます。Oxford の画面左上 'Online Journals' をクリックするとタイトルがアルファベット順に表示されます。目的に合ったジャーナルを選んで利用して下さい。



K - PORT

図書館で購入している外国雑誌のうち、無料オンラインジャーナルが利用できるもののリストです。画面の[ALL]をクリックすると、利用可能なすべてのタイトルが表示されます。また、読みたい雑誌が決まっている場合はその頭文字をクリックして下さい。いずれの場合もタイトルの横にあるグレーのボタンをクリックするとそれぞれの雑誌へジャンプすることができます。



(松岡 世利子)

2002年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ

図書館 6 階展示コーナー

「源氏物語絵巻とその周辺」

展示期間：10月15日（火）～11月30日（土）

源氏物語は成立後、時を経ずして絵画化されました。それら源氏絵のさまざまな姿に触れられるよう絵巻や画帖の複製を展示し、そこに源氏物語が引用した先行作品、竹取物語や伊勢物語などの当館所蔵本を取り合わせました。源氏物語の新たな魅力に触れてください。

講演会 お話：中川正美 日本文学科教授

日時：平成14年11月5日（火）

13:00～14:30

場所：F棟 201教室

お問い合わせ、講演会の申込み：梅花女子大学・梅花短期大学 図書館メインカウンターまで

学園資料室展示



梅花学園のあゆみ

- 創立者澤山保羅生誕150年・学園創立125周年 -



展示期間：2002年10月15日（火）
～ 2003年3月20日（木）

展示時間：9:00～16:00

（閉室：毎土・日曜）

展示場所：澤山記念館資料展示ホール

本年梅花学園は、創立124年の歴史を刻むとともに、創立者澤山保羅生誕150年の記念すべき年を迎えました。開校以来今日まで「他者への愛、奉仕の心」をスクール・モットーに掲げ自立した女性の育成を目指してきた歴史の一端を写真を中心に展示しています。

図書館雑感



私は昨年9月に図書館に配属になり約1年が経過しました。元来本を読まずマンガ本でさえ読まない私は、図書館とはほとんど縁がありませんでした。そんな私が図書館について述べよといわれてもいささか困るのですが、私なりの考えを述べたいと思います。なにぶん未熟者でピントのずれた内容になるうかと思いますがお許しください。

そもそも本が苦手な私は図書館というところに自ら足を踏み入れようとしたことはありませんでした。ところが、学生時代に卒論を書かなければならなくなり、書店に売っている本だけでは間に合わずどうしても図書館に通わざるを得なくなったのです。しかし、図書館のオリエンテーションにも参加したこともない私は、図書の分類についての知識があるはずもなく、自分の探している本がどこにあるのか見つけ出すだけでも苦労でした。その時、「図書館とはなんと不便で、つまらないところだなあ」という印象を受けたのです。ですから、悪戦苦闘して卒論を完成させた後は二度と図書館に足を踏み入れることはなかったのです。でも、これは私の図書館に対する知識があまりにも乏しすぎた結果なのです。

こんな私が言うのもおかしいのですが、学生の皆さんには「もっと図書館を利用してもらいたい」のです。現在の本学図書館には私の苦手な書籍だけでなく、視聴覚資料わかりやすいいえばCD、DVD、ビデオなどもあります。著作権の問題もあるのですが、CD及びビデオについては貸し出しもできます。レンタルショップではありませんので無料です。当然館内で授業の空き時間などに見たり聴いたりすることもできます。そういったことを知らずに卒業して

いってしまう人もたくさんいると思います。恥ずかしながら私も配属されるまでは知りませんでした。現在は限られたソフトしかありませんが、皆さんが利用すればするほど、ソフトをどんどん充実させていくこととなります。利用できるものは何でも最大限利用してください。

また、「図書館は誰のために、何のためにあるのか」ということを考えるなら、学生の皆さんのために、利用されるためにあるのだと私は思っています。では、どうすれば多くの学生に利用してもらえるのだろうか。それはニーズに合ったものがあれば利用してもらえるのではないかと。大学の図書館としては難しい専門書や研究書も当然必要ですが、実際によく利用してもらうためにはもっと身近なもの、たとえば本屋・コンビニなどでも必ず人が群がっていることからわかるように人気のある雑誌類、先にふれましたCD・DVD等をもっと充実させるのもひとつの方法ではないでしょうか。予算の関係や、大学の図書館として相応しくないのではないかとという声もあるかと思いますが、なによりも「図書館は利用されなければただの倉庫にすぎない」のですから。きっかけは何であれまず図書館に足を踏み入れるようになれば、おのずと書籍も目にふれるようになり興味も湧いてくるはずですよ。

最後に私達館員はより多くの方に利用される図書館をめざしていますので、図書館に対しての要望がありましたらどんどんお寄せください。お待ちしております。(松本 恭明)

新収資料から



『岩波女性学事典』

井上輝子[ほか]編 岩波書店 2002年6月刊(3階 辞書・事典:請求記号:367.2#95)
日本の女性学・フェミニズムに関する初めての事典として注目! 1970年代のウーマン・リブ以来、女性解放をめざす運動、思想・研究も多様化してきました。今まさにその知識の習得と普及が求められています。その点で、この事典は女性学関連の用語を蓄積・整理し、認識を共有するために編集されたかつてない事典です。

ほかに、2001年度に開設された“水嶋純子文庫”の主な女性学に関する参考図書として以下のものがあります。



『フェミニズム歴史事典』

ジャネット・K.ポールズ, ダイアン・ロング・ホーヴェラー編著; 鶴殿えりか[ほか]訳
明石書店 2000年8月刊(5階(北) 水嶋純子文庫:請求記号:水嶋文庫#W#777
3階 辞書・事典 :請求記号:367.2#B63)

フェミニズムはきわめて長い歴史をもっています。今日の活動や組織は周知のとおりですが、それらは、古代や旧約聖書時代までもさかのぼります。この間の運動は、多様化され、アメリカ合衆国やヨーロッパをはじめ、どの大陸のどの国にも活動家や運動参加者がいます。それらフェミニズム運動の長さ、広範囲性を知る上で欠かせない事典です。姉妹図書として、『現代フェミニズム思想辞典』(請求番号:水嶋文庫#W#776)があります。

(小山 玲子)



Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

BLT第5号をお届けします。

梅花女子大学・梅花短期大学 図書館

巻頭に、女子大学日本文学科の中川先生から「指輪物語」に関する興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

3階新聞閲覧台横に、「図書館界ニュース」と題して広く「図書館」に関する新聞記事の掲示を始めました。時折、ご覧ください。

図書館
電話 0726-43-8498
Email bLibrary@baika.ac.jp
学園資料室
電話 0726-43-8447
Email shiry@baika.ac.jp
共通
Fax 0726-43-1952

国立国会図書館のホームページがリニューアルされています。一度ご覧ください。
(<http://www.ndl.go.jp>)



図書館ホームページ
URL <http://www.baika.ac.jp/lib>

卒論、修論、卒業レポート
作成用に
図書を借りることができます！

大学院生・研究生・女子大4年生・
短大2年生の皆さんへ

修士論文・卒業論文・卒業レポート作成用として、
通常貸出のほかに、図書を
・院生・研究生・女子大4年生の方は、
8冊1ヶ月間
・短大2年生の方は、
5冊3週間
の貸出ができます。
詳しくは、3階メインカウンターに
お問い合わせ下さい。

ちょっと気の早いお知らせですが……
卒業後も図書館は利用できます。

来春卒業される方々へ

卒業後も図書館を利用することができます。
希望者には、当該年度内有効の「利用者証(Library Card)」を発行します。
メインカウンターにお申し出下さい。
(発行は3日後になります)
資料の閲覧、複写、貸出(8冊2週間)、相互利用の
申込などができます。

詳しくは、3階メインカウンターに
お問い合わせ下さい。